

○希望入居日から逆算してスケジュールを立てよう

家を建てるときには、どんな手順が必要でしょうか。事前に知っていると、家づくりに取りかかってから気がつくのでは大違いです。家づくりでは、次々に決定していかなければならないことがたくさんあります。あとから慌てることのないように、家づくりの流れを把握して、スケジュールを立てておくと安心です。

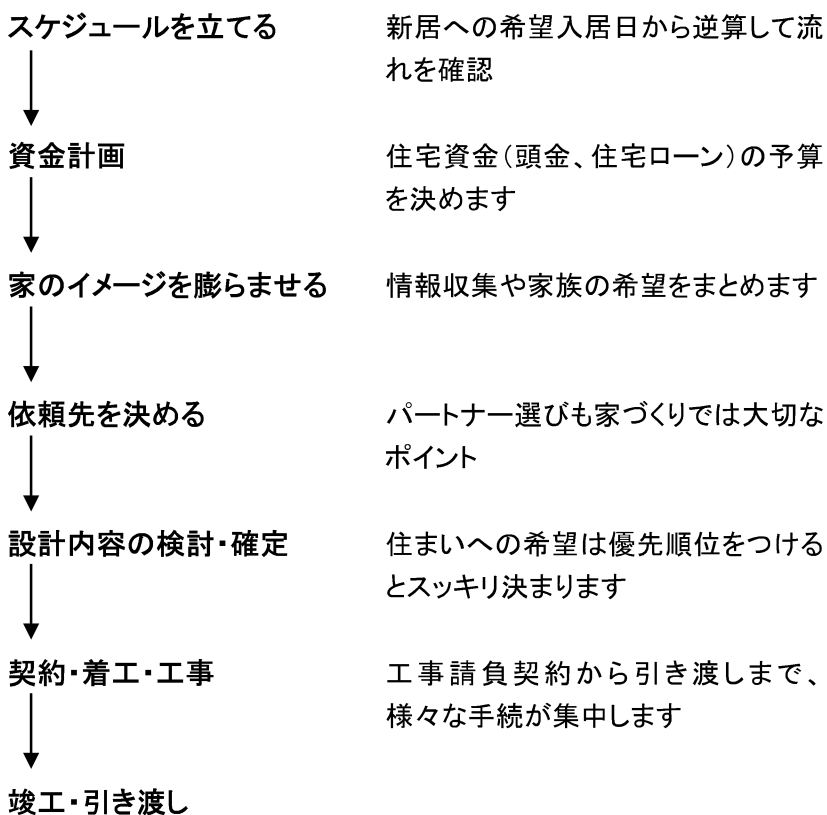
大まかな流れとしては、資金計画→建たい家をイメージする→依頼先を決める→設計内容の検討・確定する→契約・着工→工事、などの段階を経て、完成(竣工)・引き渡しとなります。

それぞれの段階にかかる時間は、工法や希望する条件によって異なりますが、一般的な木造2階建て住宅の場合は、住宅会社と出会ってから新居に住みはじめるまで約1年かかります。建て替えの場合の解体工事、間取りプランをじっくり検討したい場合、土地探しから始める場合などは、さらに期間がかかります。

家を建てる場合は、まずいつから新居で暮らしたいのか、希望時期を決めて、それから逆算してスケジュールを決めるのが一般的です。

○家づくりの流れを押さえておこう！

家づくりは楽しい一方で、労力とエネルギーを費やすものです。家づくりの流れを知っておくことで、情報収集や検討などの時間が確保しやすくなるなど安心です。



○どんな家を建てたい？みんなで話し合おう

住まいにはいろいろなスタイルがあります。マンションか一戸建てか、一戸建てならすでにある家から選ぶ建売住宅か、大まかな形の決まっているセミオーダーか、あるいは希望の家を一から作っていく注文住宅か。

その中で、こんな家に住みたいという希望を固めて住宅会社や設計士などと一緒に作る注文住宅には、住まいを自分たちの手で作り上げていく楽しさと、他のことでは得られない達成感があるものです。

多くの人にとって、家をつくるのは一生に一度の大仕事です。何十年もかけてローンを支払うことも少なくありません。

また、長い時間をそこで暮らし、やがて年を取り、子供たちが育っていく場所となるのですから、後悔のないよう、十分に「どんな家をつくりたいか」を考える必要があります。

家づくりは、家族のつながりを深める絶好の機会でもあります。みんなで今の住まいの不満、そして新しい家への夢を語り合い、家族の意志をまとめてみましょう。

現実の家づくりには、予算や建築条件など多くの制約がありますので、希望が叶わないこともあります。そこで、要望や条件に優先順位をつけて、絶対に譲れないこと、なくても仕方がないと思えることを明確にしておきましょう。

まず情報を集めてどんな家をつくりたいのか話し合いを!



○いろいろな家を見てみよう

家のモデルといえば住宅展示場ですが、展示場の家は各社とも、最高級の仕様・設備で建てていることが多く、あまり現実的ではないこともあります。家のイメージや予算がはっきりしていない段階で展示場のモデルハウスを見て、ますます考えが固まらなくなった、ということも少なくありません。展示場は、条件やイメージがはっきりと決まってから行く方がいいでしょう。

暮らしたい家のイメージができてきたら、実際にいろいろな家を見ることをおすすめします。インターネットなどでたくさんの情報を集め、住宅街を歩いて実際に人が住んでいる家を見たり、住宅会社の見学会などに参加したりするといいでしょう。

実際の家を見ると、「これがいい」というイメージがますます固まったり、新しいアイデアが浮かんだりするものです。

時間を作って、ぜひたくさんの方に足を運んでみてください。